

令和元年10月 斐伊川水系水質情報

令和元年10月(宍道湖:7日・中海:10日採水)					単位:mg/l(Chl-a: µg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.2	△	平年並み	3.9	△	平年並み	5.1	△	平年並み
全窒素	上層	0.48	△	平年並み	0.30	○	良好	0.32	○	良好
全リン	上層	0.035	△	平年並み	0.031	△	平年並み	0.039	△	平年並み
Chl-a	上層	31	△	平年並み	8.6	△	平年並み	14	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,390	×	やや高い	12,900	×	やや高い	12,100	×	やや高い
	下層	3,710	×	やや高い	18,100	×	やや高い	13,700	×	やや高い
溶存酸素	上層	8.8		やや低い	9.3		平年並み	11.9		平年並み
	下層	7.7		平年並み	1.6		やや低い	8.2		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.1	やや下降	3.5	やや上昇	4.3	やや上昇
全窒素	上層	0.60	やや下降	0.44	下降	0.48	やや下降
全リン	上層	0.047	横ばい	0.041	やや下降	0.051	横ばい

宍道湖の透明度は1.1mから1.3mとやや上昇。中海の透明度は2.2mから3.0mと上昇し、良好。米子湾の透明度は1.9mから2.3mとやや上昇し、良好となっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	×	<やや高い>
10年間平均値	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値		ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
平均値-標準偏差値の3倍	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%